

「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業【テーマB】インターンシップ等の取組拡大」  
「大学教育再生加速プログラム(インターンシップ等を通じた教育強化)」

最終評価結果

|                               |  |
|-------------------------------|--|
| 大学グループ名                       | 大阪・兵庫・和歌山グループ  |
| 取組名称                          | 地域インターンシップの体制整備を通じたキャリア教育の充実   |
| 地域インターンシップ推進組織名               | 兵庫県経営者協会、和歌山県経営者協会、堺・南大阪地域インターンシップ推進協議会（堺経営者協会、南大阪地域大学コンソーシアム、堺市産業振興局商工労働部の3者による協議体）、大学コンソーシアム大阪、大学コンソーシアムひょうご神戸（留学生対象のインターンシップのみ実施） |
| 取組担当者                         | 和歌山大学 キャリアセンター長・システム工学部教授 藤坂 恒夫  |
| 連携校名（★幹事校）                    | ★和歌山大学・大阪府立大学・兵庫県立大学・追手門学院大学・大阪音楽大学・大阪成蹊大学・大手前大学・神戸学院大学・大阪音楽大学短期大学部（計9校）   |
| 連携したインターンシップ等支援組織等名（団体名・企業名等） | 大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課、関西広域連合広域産業振興局（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市）、近畿経済産業局地域経済部産業人材政策課、大阪労働協会                             |

事業概要

本グループでは、大阪・兵庫・和歌山地域のインターンシップの体制整備を通じて、インターンシップを中心としたキャリア教育の充実を行うため、主に以下の3つの取組を行いました。

【3つの取組の柱】

①マッチング成果の向上

- 1) 広域インターンシップの仕組みづくり&実施
- 2) 企業向けインターンシップ活用説明会の開催(3回、関西広域連合と連携したシンポジウムを含む)
- 3) 企業プロモーション(企業の魅力発信)の実施
- 4) 産学交流会の実施(5回)

②学修プログラムとしての質の向上

- ②-1 関連アクティブ・ラーニング
- ②-2 インターンシップモデリング

- 1) 各大学による事前・事後学習改善
- 2) ICP診断テストによる改善効果分析
- 3) シリーズ①『インターンシップこれが問題!集』作成
- 4) シリーズ②学生リーダー会『98%の人がインターンシップに行った方がいいって言ってるらしいです!!』作成
- 5) 多様なインターンシップモデル開発・共有
- 6) 大学のインターンシップ制度の改善
- 7) 専門教育との接合

③専門人材の養成 専門人材養成研修の実施(5回)

【事業終了後の取り組み】

産学協働人材育成機構(AICE)を2016年4月より立ち上げ、産業界、地方公共団体、地域社会と協力し合い、アクティブラーニングの質保証を中心的テーマとした産官学地域協働による人材育成を行います。

最終評価結果<総合評価> B

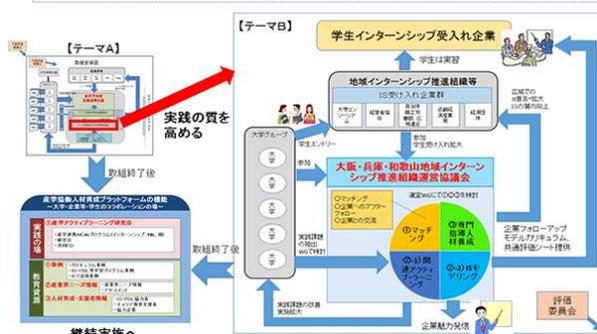
<<コメント>>

大阪、神戸との連携が進み、主要経済団体が全て参加した組織となった。各受入団体に共通する部分、異なる部分の理由を分析し、受入団体と大学が現状と課題を共有しながら、広域でのインターンシップを具体化した点は評価できる。また、インターンシップのマッチングや、共通の評価基準での効果分析等、実務面での大学間連携が進んだ。

一方で、参加団体独自の取組と本事業の取組の実績が混在する等、実績の整理がなされておらず、実態としての成果が分かりにくい。また、大阪労働協会の実施するキャリア教育コーディネータの配置と本事業における専門人材養成の関係が不明瞭であり、具体的な取組内容が研修会に留まる等、専門人材養成の観点からの取組は不十分である。ICP診断テストの結果の信憑性にも課題があり、テストの在り方の検証や、外部評価委員会の効果的な活用方法の検討等、評価体制にも改善の余地がある。

今後は、個々の大学の分担による取組から脱却し、大学グループ全体として、本課題への具体的な取組の推進が求められる。その際には再度、本事業の参加団体と連携することが効果的である。

【テーマA】と【テーマB】の関係とプラットフォーム構想への接続



※取組報告 URL : <http://www.sneeds-b-kansai.jp/>